

# つながりをチカラに

**S** **A** **I**

**String** つなぎあわせる  
**Approach** 近づく  
**Information** 情報

能登半島地震  
被災地支援情報は  
県社協HPをご確認ください



埼玉県社協マスコット  
「シャキたまくん」



埼玉県社会福祉協議会フォトコンテスト 入賞作品 「春の訪れ」 高橋 尚義さん(川口市) 撮影場所：さいたま市



**巻頭インタビュー**

聞こえる人も聞こえない人も  
豊かに暮らせる社会へ  
～手話を通じて人の気持ちに思いを馳せる～  
厚生労働大臣認定手話通訳士・亜細亜大学経営学部特任准教授

**橋本 一郎**さん

**福祉を考える**

デフリンピックが東京にやってくる!  
～ろう者のためのオリンピック～  
一般財団法人全日本ろうあ連盟 デフリンピック運営委員会

**今月のキラリ**

社協と地域の業者が協働した移動販売車による買い物支援  
深谷市社会福祉協議会×地域の事業者(深谷市)

# 聞こえる人も聞こえない人も

## 豊かに暮らせる社会へ

### 手話を通じて人の気持ちに思いを馳せる

手話は誰のためではなく、自分のために学び始めたと言語の橋本一郎さん。手話がなければ今の自分はなく、手話は自分の人生を変えてくれたとも語ります。エンターテインメントから法曹界での手話通訳、大学での特別支援教育講座や障害のある学生への支援、聞こえない人が経営するラーメン店でのアルバイト等々、聞こえない人と聞こえる人の橋渡しに八面六臂で大活躍の橋本さんに、手話通訳士としての思いを伺いました。

**手話との出会いと手話通訳士としての思いをお聞かせください。**

中学3年の時に好きな女の子に誘われて、世田谷のボランティア活動に行ったら、楽しかったのが始まりです。そこで知り合った人から「手話をやったら女の子にモテるし、表現力が上がるよ」と言われて高校1年の12月に初めて手話サークルに行きました。高校に入ってから演劇活動をしていたので、表現力が上がることにとても魅かれたのです。高校2年から行政が開催する手話講習会で学び、同年に手話のスピーチコンテストに出場して東京で2位。その実績が認められて亜細亜大学に入学できました。

大学2年の時に半年間、英語を学ぶためにアメリカに留学しましたが、今でも忘れられない体験

をしました。当時の僕は英語の会話は1対1では分かって2対1が限界で、「分からなかったらいつでも言ってみよう」と言われても「分からない」とも言えない。「分からない」と言えない僕は、日本にいる耳が聞こえない彼らと同じでした。みんなと一緒にいるのにその場に入れない孤独は想像を絶するものでした。手話を学びながら彼らの気持ちを分かろうとしていかなかったことを深く反省しました。

大学卒業後は、1年間で特別支援学校の専修免許状が取得できる横浜国立大学で、ろう教育を勉強しよう学校の先生になり、その後手話通訳士となりました。1回目は不合格となりましたが、その時は聞こえない仲間たちからの励ましのフアクシミリが一日中止まらないほどでした。仲間た



写真はParaFes（日本財団パラスポーツサポートセンター）出演時

ちの励ましを受けて、次の試験で合格し、24歳で手話通訳士になりました。

聞こえない彼らのことを想像する、聞こえる人はこう思っていると彼らに伝える、手話通訳士はどちらの文化も言語もちゃんと伝えられなければならない、そういう意味では日々研鑽だと思えます。

**聞こえない人が抱える悩みはどのようなものでしょうか。**

聞こえない人の悩み（＝壁）は聞こえる側が作っていると思っています。聞こえる側が文字で書いたり身振りで示したりすれば伝わる場面はいくらでもあります。

ただ、文字だけでは分かりにくいこともありま。例えば「つまらないものですが」という日本語は奥ゆかしい日本の文化ですが、その文字だけでは意味合いは分かりません。他の国では「つまらないものならいらぬ」と言われてしまうのと同じです。聞こえないということはどういう世界なのかを想像し、お互いの文化が違うことを容認していかないとうまくコミュニケーションが取れません。

厚生労働大臣認定手話通訳士・  
亜細亜大学経営学部特任准教授

はしもと いちろう  
**橋本 一郎** さん

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

厚生労働大臣認定手話通訳士、亜細亜大学経営学部特任准教授および障がい学生修学支援室コーディネーター。ろう学校教職員への研究指導・助言、保護者への講演を行うほか、手話パフォーマー・手話アーティストとして活動しながら、自らも定期的にライブを開催。日本財団ボランティアセンター主催「ぼ活！」の手話セミナー「教えて！いちろう先生」シリーズの講師・コーディネートを担当。



▲このポーズは手話で「ありがとう」を表します。

耳の聞こえない人、目の見えない人、知的障害のある人など、それぞれの世界は違います。想像力を働かせてその違いを知り、面白いと思ったときに壁は解消します。

**音楽や演劇を手話で伝える活動をされていますが、伝える際に大切にしていることはどのようなことですか。**

音楽であれば、リズムが早いか遅いか、どんな

楽器を使っているか、声色などを手話で伝えます。音から派生する感情のようなものは僕のフィルターを通してものを表現することになります。

ある音楽（うた）の通訳をやると決まったら、ずっとその曲を聞きます。何度も咀嚼して何度も表現を考えます。その際聞こえない仲間へ聞き取り、時には作詞家に相談したりしながらどの表現が合うかを考え続けます。

海外公演では手話通訳者の名前が公表されることが多いので、ろう者は通訳者によって公演を選択できます。日本では名前の公表はタブー化されていますが、公演は通訳者のフィルターを通しての表現となるので、公表したほうがいいと考えます。アート、音楽、演劇などそれぞれ得意な人が通訳すれば、聞こえない人の人生を豊かにすることができると言えます。

**現在取り組んでいることを教えてください。**

大学では、一般教養科目の手話入門と、教職課程で必修科目の特別支援教育概論、それと7年前にできた障がい学生修学支援室の支援コーディネーターをしています。当時の栗田充治学長が僕の恩師で、「支援室を立ち上げるから」と誘われたのです。障害のある学生と一緒に授業を受けられるよう、さまざまな支援・相談をしています。

手話通訳士としては、エンターテインメント系の通訳から法通訳、通訳者の手配とコーディネートをしています。

また、聞こえない人が経営しているラーメン店でアルバイトもしているのですが、時々大学の教え子たちが来てくれます。聞こえないが故にさま

ざまな業者と連絡を取る上での苦労を知ることでもできれば、ラーメンを美味しくするための努力を垣間見ることもできます。

そして、ラーメンを食べれば「美味しい」と手話で伝える実体験ができることも大切です。体験する機会が増えれば、自分の想いを伝えるためにもっと手話を学びたいと思ってくれるのです。

世界では戦争などで多くの子どもたちが十分な教育を受けられないのが現実です。学生にはできる範囲で多くを学び、その子たちを思いながら、知識の豊かさよりも想像する力を持ってもらいたいと思います。

**最後に、福祉に関わる人々へのメッセージをお願いします。**

忘れてはならないのは、災害時の対応だと思えます。まず聞こえない人たちも防災訓練に来られるように、手話通訳の人に声を掛けることも大切かと思えます。聞こえないということは目に見えず、周囲の人には分からないのです。僕は、阪神淡路大震災や東日本大震災でボランティアに行き、聞こえない人たちと手話でたくさん話をしました。孤独になりがちで聞こえない人たちにとって雑談をすることがどれだけ力になるかを実感しました。

皆さんには地域にどういった人たちがいて、どういった課題を持っているかを知ること、地域の人たちがお互いに、当たり前前に声を掛け合える関係性をつくっていただきたいと思います。

# デフリンピックが東京にやってくる！ ～ろう者のためのオリンピック～

一般財団法人全日本ろうあ連盟デフリンピック運営委員会



「デフリンピック」という国際スポーツ大会をご存知でしょうか？デフリンピックとは、「デフ+オリンピック」のことです。デフ（Deaf）とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは「聞こえない人のオリンピック」です。

## デフリンピックの歴史

パラリンピックが初めて開催されたのは1948年。それからさかのぼること24年の1924年にフランスのパリで初めてデフリンピックが開催されました。それ以来、オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会が開かれています。

## 競技上の工夫

夏季大会では21競技が行われます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、デフリンピックでは、「耳」が聞こえなくても、参加者が不利にならないよう「目」でわかるさまざまな工夫がされています。例えば、陸上や水泳のスタートの合図にはスタートランプを使ったり、サッカーやバスケットでは審判は笛とフラッグを振ったりすることで、聞こえない選手に伝えます。

また、団体競技では選手同士が聴覚の代わりに「視覚」を使い、工夫をしながら補っていくのが、聞こえない選手のすごさであり、聞こえない立場で世界の高みを競い合う場がデフリンピックなのです。



©一般財団法人 全日本ろうあ連盟



## 初の日本開催

デフリンピック初開催から100年の時を経て、2025年11月に初めて日本で開催されることになりました。大会開催を通して、さまざまな人々がお互いの違いを尊重し、かつ自らの個性を発揮できる社会の実現を目指して準備を進めています。「デフスポーツのすばらしさを伝え、ろう者の文化や手話言語をもっと知り、聞こえない人も聞こえる人も共に暮らせる、心・情報・街のバリアフリー」を目指して！

ぜひ、大会を観戦して世界の聞こえない選手たちを応援してください。拍手は「パチパチ」ではなく、両手を「ひらひら」と振る、これが聞こえない世界での拍手なのです。

●東京2025デフリンピック 大会ポータルサイト



福祉の街ネットワーク

株式会社 福祉の街 <https://www.youism.jp>  
さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル4F

無料カタログお送りします

介護のことなら何でもお気軽にご相談ください！

福祉用具のレンタル・販売 / 住宅改修

Silver HOXON シルバーホクソン

通話無料 ローゴ ヨロシク  
0120-65-4649 川口市中青木 2-22-34

掲載広告募集中！お問い合わせは地域連携課まで TEL：048-822-1248

# 今月のキラリ

さまざまな団体の  
キラリとした活動を紹介

## 社協と地域の業者が協働した 移動販売車による買い物支援

### 深谷市社会福祉協議会×地域の事業者（深谷市）

一人暮らしの高齢者が増加するなか、買い物支援のニーズが高まっています。深谷市社会福祉協議会は（※以降 市社協）、地域の5社と協働して、移動販売車による買い物支援を始めました。自治会ごとの要望にきめ細かく対応していることが特徴です。



買い物前後には  
おしゃべりを楽しみます。

深谷市内にあるお寺の駐車場に4台の移動販売車がやってきました。コンビニの「ローソン」、鮮魚店

「新鮮な魚を買うのがうれしい」と利用者の皆さん。「魚波商店」では一人暮らしの高齢者が購入しやすいように、刺身や切り身を小分けにしています。

「お菓子を買いたいけど、どれがいいかな？」と、業者の方と会話しながら品物を手に取ります。80代の女性は「宅配サービスと違って、自分の目で選べるのがうれしい。月2回の移動販売の日が待ち遠しいです」と話してくれました。買い物が終わると、今度は顔なじみのご近所同士の楽しそうなおしゃべりが始まりまし

### 地域住民が交流する「居場所」

移動販売車による買い物支援事業は2021年12月に立ち上がりました。それまでは社会福祉法人の車両やドライバーの協力のもと、高齢者をスーパーまで送迎する買い物支援を実施していましたが、コロナ禍によって中止に追い込まれます。

「移動販売なら感染対策もしやすいのでは」と考えた市社協が、別の事業ですですにながっていたローソンに協力をお願い。すると「社会貢献ができ、販路拡大につながるから」と快諾が得られました。鮮魚店と青果店にも呼び掛けるところ「新たな顧客獲得が期待できるので、協力した

い」と仲間に加わることにになりました。事業を開始するとすぐに地元のユニクロと就労継続支援B型事業所からも「参加したい」と申し出があり、地域の5社と市社協の協働による事業がスタートします。

事業の仕組みはまず、社協が市内の自治会に「買い物支援

のニーズがあれば訪問するので、5社の中から希望する業者を選んでください」と依頼。それぞれの自治会で検討し「うちは鮮魚店と青果店に週1回、来てほしい」とオーダーを出すと、それを受けた市社協がスケジュールを組み立てます。現在20弱の自治会を定期的に訪問し、自治会館等の駐車場で実施しています。

住民に周知するチラシを作成するのは市社協の役割。誰もが必ず足を運ぶごみステーションに貼りだしたり、回覧板を使ってPRに務めたりしています。

事業開始から2年余りが経過しましたが、買い物支援だけではない成果が得られてい



右から深谷市社会福祉協議会の荻原祐輔さん、就労継続支援B型事業所「チボリ」、青果店「青春市場」、ローソン、鮮魚店「魚波商店」の皆さん。

ると市社協の荻原祐輔さんと言います。「閉じこもりがちが高齢者が外出するきっかけになり、若い世代の利用もあるため、地域住民が交流する居場所としての役割ももっています。さらに業者と地域住民の顔が見える関係性が構築されており、高齢者の見守りの場にもなっています」。

買い物支援の場に自治会長や民生委員が顔を出している地区も多く、利用者の心身の状態に異変が見られると、地域包括支援センターにつなげるなどの対応をとっています。買い物支援事業が必要になる地域が広がっていくなか、社協が地域の業者、地域住民のつながりを生かした取り組みは大いに注目されます。

# 寄付・物品寄贈のご報告 心から感謝申し上げます

令和5年7月から令和5年12月の間に多くの企業・団体様から、ご寄付および物品寄贈をいただきました。皆さまからの寄付金・寄贈品は、県内の福祉の向上に活用させていただきます。



## 企業・団体(50音順 敬称略)

株式会社アイチコーポレーション  
 株式会社アイディック  
 医療法人財団アカシア会  
 アキム株式会社  
 アクアイースト株式会社  
 株式会社アズ企画設計  
 有限会社アズテック  
 株式会社アップルホーム  
 天城屋株式会社  
 アルファクラブ武蔵野株式会社  
 株式会社イシクラ  
 株式会社磯屋  
 株式会社イトーヨーカ堂  
 医療生協さいたま生活協同組合 川口診療所  
 医療生協さいたま生活協同組合 行田協立診療所  
 株式会社インター・アート・コミッティーズ  
 株式会社ヴァンクリーフ  
 ウィング工業株式会社  
 株式会社ウインライト  
 株式会社ウェブゼンケン  
 ウラワ質店  
 ウルノ商事株式会社 埼玉支店  
 AGS株式会社  
 合同会社映像工房たまき  
 株式会社エースパッケージ  
 株式会社エス・ディ・ホーム  
 株式会社エステートコスモ  
 NEテクノ株式会社  
 エネックス株式会社 東松山営業所  
 オーサワジャパン株式会社  
 大竹材木合同会社  
 株式会社オーム電機  
 株式会社オールシステム  
 株式会社OGISHI  
 株式会社オフィスナンバーワン  
 株式会社objective  
 株式会社ガーデン  
 かぞヤクルト販売株式会社  
 株式会社学研スタディエ  
 株式会社カミヤ  
 嘉和産業株式会社  
 川木建設株式会社  
 関東食糧株式会社  
 社会福祉法人希望の里  
 株式会社協同商事  
 共和コンサルタント株式会社  
 近代ビル管理株式会社  
 くまがや農業協同組合  
 クラウンコンサルタント株式会社  
 株式会社グラウンズウェル  
 クラシエ株式会社  
 グランディハウス株式会社  
 グローブシップ株式会社 埼玉支店  
 KDK産業株式会社  
 株式会社ケイマス  
 医療法人社団げんき会 あゆみクリニック  
 社会福祉法人康保会 玉淀園  
 株式会社光陽  
 株式会社こっぼ舎

寿倉庫株式会社  
 一般社団法人コンパスナビ  
 公益財団法人さいしん福祉財団  
 有限会社埼玉  
 社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 嵐山郷  
 埼玉県商工会女性部連合会  
 埼玉県遊技業協同組合  
 株式会社埼玉新聞社  
 株式会社埼玉第一興商  
 埼玉東部ヤクルト販売株式会社  
 埼玉西ヤクルト販売株式会社  
 埼玉北部ヤクルト販売株式会社  
 埼玉ヤクルト販売株式会社  
 株式会社埼玉りそな銀行  
 栄電子工業株式会社  
 さつき自治会  
 三光ソフラン株式会社  
 株式会社三都設計事務所  
 株式会社サンワールド  
 三和体育製販株式会社  
 有限会社G&Fサービス  
 C P P 有限会社  
 株式会社シタラ興産  
 株式会社シップス  
 篠崎運輸株式会社  
 株式会社清水アーネット  
 株式会社住協ホールディングス  
 城信機械株式会社  
 庄和商工会  
 株式会社Silk Road  
 新興建設工業株式会社  
 スーパーオートバックス大宮バイパス  
 杉田電機株式会社  
 すとうさとる後援会事務所  
 株式会社スバルITクリエーションズ  
 生活協同組合コープみらい  
 一般社団法人生命保険協会埼玉県協会  
 株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
 セルフコンフィデンス  
 浅間町ハウス  
 第一生命保険株式会社 浦和支社  
 第一生命株式会社 大宮支社 さいたま営業オフィス  
 大栄鋼業株式会社  
 株式会社大慶堂  
 有限会社太盛  
 株式会社大都エステート  
 ガイドードリンコ株式会社  
 大和ハウス工業株式会社 北関東支社  
 大和ハウス工業株式会社 埼玉東支社  
 株式会社高脇基礎工事  
 千代田工営株式会社  
 鶴ヶ島スイミングスクール  
 株式会社ツルハホールディングス  
 株式会社ディアラスター  
 株式会社TKファクトリー  
 株式会社デサン  
 株式会社電成社  
 株式会社東洋食品  
 戸田倉庫株式会社

鳥海エステート株式会社  
 株式会社ナイガイ  
 株式会社直徳  
 長くつ下のピッピ食堂  
 株式会社中原工業  
 西地設計有限会社  
 株式会社日慶商會  
 株式会社日本標準統合物流センター  
 株式会社日本エコジニア  
 日本ファクター株式会社  
 日本物流開発株式会社  
 B A R M O D E S T  
 株式会社博愛社  
 株式会社ハナイアーバンプランニング  
 ハニーレモン株式会社  
 株式会社原一  
 株式会社ビシオス  
 ファイズオペレーションズ株式会社  
 株式会社ファイブスターロジ  
 株式会社フェニックスエンジニアリング  
 株式会社深井自動車  
 有限会社藤池塗装工業所  
 ベテリナリアンズシナジー株式会社  
 細田建設株式会社  
 株式会社ホワイトルーム  
 株式会社マイタウン  
 毎日興行株式会社  
 まつだ整形外科クリニック  
 松原工業株式会社  
 株式会社丸味食品  
 ミサト産業株式会社  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 ミツミ工業有限会社  
 三ツ矢産業株式会社  
 ミヤコ樹脂工業株式会社  
 有限会社ミルクキーウェイ  
 武蔵コーポレーション株式会社  
 武蔵野うどん きやんち  
 株式会社武蔵野銀行  
 学校法人目白学園 目白大学さいたま岩槻キャンパス  
 焼きまんじゅうと駄馬小屋 こちら三交通りつきあたりの～  
 株式会社ヤクルト本社首都圏支店  
 矢萩エレベーター株式会社  
 山川工業株式会社  
 株式会社山口商会  
 株式会社山製作所  
 UNIX TOKYO株式会社  
 読売新聞東京本社さいたま支局  
 株式会社ライブナビ  
 株式会社リープ  
 株式会社リクラスホーム  
 リサール醸産株式会社  
 りそなアセットマネジメント株式会社

その他、個人からの寄付等

寄付金のほか、  
 車いす12台 など

# 令和5年度 埼玉県社会福祉協議会賛助会員のご紹介(令和5年12月31日まで)

【団体】(50音順 敬称略)

社会福祉法人愛弘会  
株式会社アサヒコミュニケーションズ  
株式会社イズミ  
株式会社イチネン北関東支店  
浦和高等学園  
大屋印刷株式会社  
小川工業株式会社  
一般社団法人環境対策災害支援協会  
社会福祉法人孝楽会  
社会福祉法人小鳩会 小鳩園  
一般社団法人埼玉県医師会  
社会福祉法人埼玉県共済会尚和園  
公益財団法人埼玉県公園緑地協会  
公益財団法人埼玉県国際交流協会  
一般社団法人埼玉県歯科医師会  
一般社団法人埼玉県商工会議所連合会  
埼玉県中小企業団体中央会  
埼玉県農業協同組合中央会  
一般社団法人埼玉県薬剤師会

株式会社埼玉りそな銀行  
社会福祉法人親和会  
聖学院大学  
SOCIUS VALUE 株式会社  
中央法規出版株式会社東京営業所  
積田冷熱工事株式会社  
株式会社デザイン  
東洋羽毛北関東販売株式会社  
中里建設株式会社  
東日本電信電話株式会社埼玉支店  
株式会社福祉の街  
ペーパードライバー講習合同会社  
株式会社まひまひプラス  
三菱電機ITソリューションズ株式会社  
社会福祉法人明星福祉会明星保育園  
株式会社むさし  
名鉄観光サービス株式会社さいたま支店  
望月印刷株式会社  
株式会社ワイエス

【個人】(50音順 敬称略)

飯田 直人	下田 正幸
家田 裕介	末廣 初江
大野 夏美	永田 充
小柏 和義	宮崎三津子
荻原 祐輔	望月 重己
何 徳平	由木 順一
川崎 裕二	横内 治
小林 雅彦	

その他、匿名の団体、個人を含め  
全体で、42団体、27名

## 能登半島地震の被災地へ ～石川県内災害ボランティアセンターへ職員を派遣～

被災された皆様に心から  
お見舞い申し上げます。



土砂を片付けるボランティア

「関東甲信越静岡ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、令和6年能登半島地震被害に伴う災害ボランティアセンターの運営支援のため、職員を派遣しました。

埼玉県からは2月9日～13日の5日間、県内市町村社協に協力いただき、職員4人がかほく市と内灘町に入り、被災された皆さまの一日も早い生活再建に向けた支援活動を行いました(令和6年2月末時点)。今後も復興に向け支援してまいります。

企画総務課 TEL: 048-822-1191

## ～災害派遣福祉チーム DWAT(Disaster Welfare Assistance Team)の活動～

大規模災害の発生時に、避難所等において要配慮者への支援を行い、要配慮者の二次被害の防止を図る災害派遣福祉チーム(DWAT)。令和4年度末でほぼ全ての都道府県に設置されています。

埼玉県では、2月16日から石川県の1.5次避難所等にチーム員の派遣を開始しました。埼玉DWATは埼玉県老人福祉施設協議会など県内23団体から構成され、今年度新たに登録時研修を修了した30人を加えて現在354人のチーム員がいます。福祉専門職としてのスキルを活かし、被災者に寄り添い、他のチームとも連携しながら、被災地が一日も早く復旧・復興できるよう、引き続き活動を行ってまいります。

今回の震災では、災害福祉支援ネットワーク中央センター(全国社会福祉協議会が受託)と都道府県庁および都道府県社会福祉協議会の調整によってDWATのチーム員が派遣されています。チーム員は、以下のような活動をしています。

- ・避難所内の巡回や、相談窓口の設置による避難者の健康状態の確認
- ・生活課題の把握や対応
- ・現地の保健師や医療チーム等との連携
- ・2次避難所や施設等への移動支援
- ・要支援・要介護高齢者等への介護、生活支援
- ・要介護認定の支援
- ・人手が足りない他の避難所への巡回支援

施設業務課 TEL: 048-822-1467

## ありがとうございますが届いています

令和5年度共同募金運動も、残り半月となりました。募金は、3月末まで受け付けています。皆さまからご協力いただいた募金は、県内の福祉団体が実施する福祉活動費や施設に必要な備品類の購入費用などの助成金として活用しています。共同募金の助成を受けた団体からの“ありがとうメッセージ”を紹介します。

### ◆屋根塗装修繕

社会福祉法人ふじみ愛育会 勝瀬こぼと保育園(富士見市)

開園時から、屋根の塗装修繕をしておらず、雨漏り等の心配がありました。助成金によって、屋根塗装修繕を実施して雨漏りを未然に防ぐことができ、園児たちが安心して生活を送ることができます。感謝でいっぱいです。ありがとうございました。



### ◆フードパントリー事業

一般社団法人すくすく広場(加須市)

助成金により、昨年の9月までに5回のフードパントリーを実施しました。この間、受け取りに来られない方には手分けして配達し、延べ603人を支援しました。助成金で購入した食材や地元市民によるフードドライブ、企業・農家の皆さまからの提供品を加えて、バラエティ豊かな食品を調達することができ、利用者からは、「こんなに!」「うれしい!」「元気が出ます!」など、とても喜んでいただきました。



共同募金会では、4月17日まで、つながりやをたやさない社会づくり重点助成事業の要望を受け付けています。子ども食堂などの生活支援事業のほか、住民間での孤立防止活動や災害に備えるための活動に対し、50万円の範囲内で助成します。詳細は、埼玉県共同募金会HPをご覧ください。



**社会福祉法人埼玉県共同募金会** 年間を通して助成要望を受け付けています。

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内  
TEL 048-822-4045 FAX 048-824-9819 [赤い羽根さいたま](#) 🔍検索

ネット募金  
受け付け中!



## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラから**  
(ふくしの保険ホームページ)



### 保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

\*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

### <重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入れ替え、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667  
受付時間:平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

〈SJ22-12223より抜粋して作成〉

